

【小学校 ESD・総合的な学習の時間における事例】

持続可能なツーリズムを考えよう（第5学年）

—しまなみ海道自転車道を事例にして—

奈良市立富雄第三小学校 大田 清美

1 ESDを生かした授業づくり

(1) 単元名 「持続可能なツーリズムを考えよう—しまなみ海道自転車道を事例にして—」

小学校第5学年

(2) 単元の概要

本単元は、しまなみ海道の自転車を活用した観光業を事例に挙げ、地域固有の自然環境や文化遺産の魅力を生かした持続可能な観光業（ツーリズム）について考えることで、児童に新しい観光業の在り方に気づかせ、児童の持続可能な社会を構築するための新たな価値観を高めることをねらいとした。

しまなみ海道自転車道は、愛媛・今治と広島・尾道を結ぶ全長約 80km の日本で初めての海峡を横断する自転車道（瀬戸内海横断自転車道）である。瀬戸内海の島々を6本の橋で結んでおり、橋からの美しい海や島の眺めは格別である。自転車道から少し足をのばせば、島内の自然や歴史遺産を楽しむこともでき、「おすすめのサイクリングコース」で1位（日経プラスワン・何でもランキング、2010年8月）となった。専用自転車道ではないので、メインルート沿いに青い線を引き、最終地点までの距離も表示したり、自転車のレンタルサービスを充実させたり、地域の民宿や飲食店などが協力し、「サイクルオアシス」として休憩所やトイレ、空気入れなどを無料でサイクリストに提供するなど、サイクリストに優しい取り組みを連携して行っている。

このような自転車を活用した観光は、観光客が自らルートまたは目的地を選択し、自主的な観光を促すこと、一定の体力を使い、二酸化炭素を排出せず、環境に優しく、地域の景観などを五感で体感できること、地域の人々との触れ合いの可能性があり、移動の費用や待ち時間が節約できること、観光空間がスポット的線的ではなく、隠れた地域資源をも訪れることができることなど、観光客にとってメリットが多々ある。

また、地域住民にとっても、広い観光用道路を整備する必要もなく経済的であり、周囲の景観を守ることにもつながるなど利点も多い。さらに駐車場の問題や渋滞問題などがなく、環境に優しい観光を提供できる。このことは、エコツーリズムにも通ずるものである。

このような自転車を活用した観光業の成功事例を取り上げ、観光客や地域住民などの視点からその利点を考えるとともに、それらを身近な自分の住む地域の観光と結びつけることで、これからの観光業（持続可能なツーリズム）について考えさせていきたい。

・参考文献

「実践する自転車まちづくり 役立つ具体策」古倉宗治 学芸出版社

(3) ESDの視点の明確化

【持続可能な社会づくりの構成概念】

構成概念 I 多様性…これからの観光業の在り方を考える際には、環境面・経済面・健康面・社会面などを、多面的に考慮する必要があること。

構成概念 V 連携性…しまなみ海道の自転車を活用した観光業は、地域住民・自治体・事業所など、さまざまな立場の人々が協力して、持続可能なツーリズムの実現に努めていること。

構成概念 VI 責任性…持続可能なツーリズムを実現するために、何を大切にするのかを考え、自分の地域の観光業について見つめ直そうとすること。

2 ESDの視点を生かした授業の実際

(1) 単元の目標（重視する能力・態度）

《参加》しまなみ海道の自転車を活用した観光業について、意欲的に調べたり考えたりし、自分の意見を述べたりすることができる。 【関心・意欲・態度】

《未来》これからの観光業の在り方（持続可能なツーリズム）について、さまざまな観点から考えることができる。 【思考・判断・表現】

《伝達》しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について、調べたことを分かりやすくまとめ、伝えることができる。 【技能】


《多面》しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について理解することができる。

【知識・理解】

(2) 評価規準

《参加》 関心・意欲・態度	《未来》 思考・判断・表現	《伝達》 技能	《多面》 知識・理解
①しまなみ海道の自転車を活用した観光業について、意欲的に調べたり、考えたりしている。	①しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について、観光客・地域住民の立場からさまざまな観点で考えている。	①しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について、調べたことを分かりやすくまとめ、伝えている。	①しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について理解している。
②これからの観光業の在り方について意欲的に考えている。	②これからの観光業の在り方（持続可能なツーリズム）について考えたことを表現している。		

(3) 単元の計画 (全4時間)

時	主な学習活動と内容	◇教師の支援	◆主な評価
1	<p>1 しまなみ海道自転車道について知る。</p>  <p>(瀬戸内しまなみ海道振興協議会 HP)</p> <p>2 しまなみ海道のレンタサイクルの貸出件数の推移を見て、分かることを話し合う。</p>	<p>◇しまなみ海道の画像や映像を提示し、知っていることや、資料から分かることを発言できるようにする。</p> <p>◇地図帳で位置を確認させ、その距離や地形などを理解させる。</p> <p>◇自転車を利用する観光客数が徐々に増えてきていることに注目させる。</p>	<p>・しまなみ海道の地図</p> <p>・サイクリングの映像</p> <p>・レンタサイクルの貸出件数の推移 (尾道市産業部観光課)</p> <p>H17 29896 人</p> <p>H18 35478 人</p> <p>H19 39034 人</p> <p>H20 41926 人</p> <p>.....</p> <p>H23 約 61000 人</p>
<p>しまなみ海道の自転車を活用した観光は、</p> <p>どのような魅力があるのだろう。</p>			
3	<p>しまなみ海道の自転車を活用した観光の特色について調べる。</p>	<p>◇しまなみ海道の自転車を活用した観光の特色を、インターネット・書籍・新聞・聞き取り等で調べさせる。</p> <p>◆しまなみ海道の自転車を活用した観光業について、意欲的に調べたり、考えたりしている。</p> <p style="text-align: right;">《参加》</p>	

2	1 調べたことを交流する。	<p>◇自治体・事業所・住民などさまざまな立場で観光業が盛んになる工夫をしていることに気付かせる。</p> <p>◆しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について、調べたことを分かりやすくまとめ、伝えている。《伝達》</p>	
3	<p>1 観光客の立場に立って、しまなみ海道の自転車を活用した観光の利点について考える。</p> <p>2 地域住民（自治体含む）の立場に立って、しまなみ海道の自転車を活用した観光の利点について考える。</p>	<p>◇環境面・経済面・健康面などさまざまな面から見た利点があることに気付かせるようにまとめる。</p> <p>◆しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について理解している。 《多面》</p> <p>◆しまなみ海道の自転車を活用した観光業の特色について、観光客・地域住民の立場からさまざまな観点で考えている。 《未来》</p>	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>これからの観光業（持続可能なツーリズム）について考えよう</p> </div>		
	<p>1 しまなみ海道の観光の利点を整理する。</p> <p>2 自分の住む地域での持続可能なツーリズムについて考える。</p>	<p>◇持続可能なツーリズムの視点を意識させる。</p> <p>◇しまなみ海道での成功例と、自分の住む地域の特色を踏まえ、それらを比較・関連づけて考えられるようにする。</p> <p>◆これからの観光業（持続可能なツーリズム）の在り方について意欲的に考えている。《参加》</p> <p>◆これからの観光業（持続可能なツーリズム）について考えたことを表現している。 《未来》</p>	

